

※受付番号

特定建設工事入札参加資格  
審査申請書(共同企業体)

平成 年 月 日

(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一

参加申請日



(ふりがな)

※ 「・」は使用しない  
※ 「特定」はつけない

代表者

〇〇 △△ 建設共同企業体

株式会社 〇〇建設

代表取締役 ● ● ● ● 印

株式会社 △△工業

代表取締役 ▲ ▲ ▲ ▲ 印

★ 所在地は記入しない  
(あっても可)

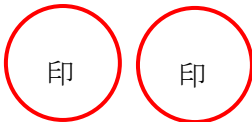
今般、連帯責任によって請負工事の共同施工を行うため、株式会社 〇〇建設  
を代表者とする 〇〇 △△ 建設共同企業体を結成したので、  
同企業体を貴施工の請負工事の入札に参加いたしたく、別冊指定の書類を添えて申請いたしま  
す。

なお、この参加願及び添付書類のすべての記載事項は、事実と相違ないことを誓約します。

記

商号または名称	許可番号	許可年月日	許可を受けた建設業の種類
株式会社 〇〇建設	国土大臣許可 第123456号	平成XX年XX月XX日	土, 建, と, 電, ほ
株式会社 △△工業	栃木県知事許可 第654321号	平成XX年XX月XX日	土, 建, と, ほ
希望する工事種別	建築一式工事		





# 特定建設工事共同企業体協定書

(目的)

第1条 当共同企業体は、次の事業を共同連帯して営むことを目的とする。

(1) 宇都宮市発注に係る「◎◎◎◎◎◎工事」(当該工事内容の変更に伴う工事を含む。  
以下、単に「建設工事」という。)の請負

(2) 前号に附帯する事業

(名称)

第2条 当共同企業体は、〇〇 △△ 建設共同企業体(以下「当企業体」とい  
う。)と称する。

(事務所の所在地)

第3条 当企業体は、事務所を 宇都宮市 □□ 1丁目2番3号 に置く。

(成立の時期及び解散の時期)

 **参加申請日**

第4条 当企業体は、平成 年 月 日に成立し、建設工事の請負契約の履行後3か  
月を経過するまでの間は解散することができない。

2 建設工事を請け負うことができなかったときは、当企業体は、前項の規定にかかわらず、  
当該建設工事に係る請負契約が締結された日に解散するものとする。

(構成員の住所及び名称)

第5条 当企業体の構成員は次のとおりとする。

宇都宮市 □□ 1丁目2番3号

株式会社 ○〇建設

宇都宮市 ■■町45番地6

株式会社 △△工業

★ 代表者名は記入しない  
(あっても可)

協定書のみ袋とじ&割印(表裏)

(代表者の名称)

第6条 当企業体は、株式会社 ○〇建設 を代表者とする。

印

印

(代表者の権限)

第7条 当企業体の代表者は、建設工事の施工に関し、当企業体を代表して、その権限を行うことを名義上明らかにした上で、発注者及び監督官庁等と折衝する権限並びに請負代金（前払金及び部分払金を含む。）の請求、受領及び当企業体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

(構成員の出資の割合)

第8条 各構成員の出資の割合は、次のとおりとする。ただし、当該建設工事について発注者と契約内容の変更増減があっても、構成員の出資の割合は変わらないものとする。

株式会社 ○○建設 60 %

株式会社 △△工業 40 %

2者…30%以上

3者…20%以上

4者…15%以上

2 金銭以外のものによる出資については、時価を参しゃくのうえ構成員が協議して評価するものとする。

(運営委員会)

第9条 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、組織及び編成並びに工事の施工の基本に関する事項、資金管理法、下請企業の決定その他の当企業体の運営に関する基本的かつ重要な事項について協議の上決定し、建設工事の完成に当たるものとする。

(構成員の責任)

第10条 各構成員は、建設工事の請負契約の履行及び下請契約その他の建設工事の実施に伴い当企業体が負担する債務の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

(取引金融機関)

第11条 当企業体の取引金融機関は、          ×× 銀行 □□ 支店          とし、共同企業体の名称を冠した代表者名義の別口預金口座によって取引するものとする。

(決算)

第12条 当企業体は、工事竣工の都度、当該工事について決算するものとする。

(利益金の配当の割合)

第13条 決算の結果利益を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員に利益を配当するものとする。

(欠損金の負担の割合)

第14条 決算の結果、欠損金を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員が欠損金を負担するものとする。

印

印

(権利義務の譲渡の制限)

第15条 本協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することはできない。

(工事途中における構成員の脱退に対する措置)

第16条 構成員は、発注者及び構成員全員の承認がなければ、当企業体が建設工事を完成する日までは、脱退することができない。

- 2 構成員のうち工事途中において前項の規定により脱退した者がある場合においては、残存構成員が共同連帯して建設工事を完成する。
- 3 第1項の規定により構成員のうち脱退した者があるときは、残存構成員の出資の割合は、脱退構成員が脱退前に有していたところの出資の割合を、残存構成員が有している出資の割合により分割し、これを第8条に規定する割合に加えた割合とする。
- 4 脱退した構成員の出資金の返還は、決算の際行うものとする。ただし、決算の結果、欠損金を生じた場合には、脱退した構成員の出資金から構成員が脱退しなかった場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。
- 5 決算の結果利益を生じた場合において、脱退構成員には利益金の配当は行わない。

(構成員の除名)

第16条の2 当企業体は、構成員のうちいずれかが、工事途中において重要な義務の不履行その他の除名し得る正当な事由を生じた場合においては、他の構成員全員及び発注者の認証により当該構成員を除名することができるものとする。

- 2 前項の場合において、除名した構成員に対してその旨を通知しなければならない。
- 3 第1項の規定により構成員が除名された場合においては、前条第2項から第5項までを準用するものとする。

(工事途中における構成員の破産又は解散に対する措置)

第17条 構成員のうちいずれかが工事途中において破産又は解散した場合においては、第16条第2項から第5項までを準用するものとする。

(代表者の変更)

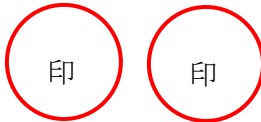
第17条の2 代表者が脱退若しくは除名された場合又は代表者の責務を果たせなくなった場合においては、従前の代表者に代えて、他の構成員全員及び発注者の認証により残存構成員のうちいずれかを代表者とするすることができるものとする。

(解散後のかし担保責任)


第18条 当企業体が解散した後においても、当該工事につきかしがあったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

(協定書に定めのない事項)

第19条 この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。



株式会社 ○○建設 外 1 社は、上記のとおり ○○ △△ 建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書を 3 通作成し、各通に構成員が記名捺印し、各自保有するものとする。

 JV構成員分＋市役所分

平成 年 月 日

 参加申請日

★ 所在地は記入しない  
(あっても可)

株式会社 ○○建設  
代表取締役 ● ● ● ● 印

株式会社 △△工業  
代表取締役 ▲ ▲ ▲ ▲ 印